



第34回

不妊治療 保険適用2年の課題

※2024年2月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

1 / 3

不妊治療をしているとお金が一瞬で溶けていく……。不妊治療の公的医療保険の適用範囲が大幅に拡大して今年4月で丸2年を迎える。高額な体外受精が利用しやすくなる一方で、冒頭のような声はいまだに聞こえる。保険適用されて減軽される人、適用されずに増える人の事情を探った。

「保険適用のおかげで体外受精に踏み切れた」と振り返るのは、千葉県市川市に住む女性（34）。夫とともに働く共働き世帯だ。

結婚から2年近く、性行為のタイミングを計るなどの妊活が続けてきたが、自然妊娠に至らなかった。原因も分からずじまいで、一般的に1回50万円以上とされる体外受精の費用の高さにとまどい、

次のステップに進めずにいた。

ちょうどその頃、不妊治療の公的保険適用が拡充され、受診した医療機関で「自己負担は3割で済みますので」と体外受精を勧められた。幸い1回で妊娠し、2023年10月に第1子を出産した。

費用は50万円近くかかったが、夫婦の負担は19万円ほど。女性は「保険適用がなかったら、全てを自費で賄うことは難しかった。お金をためている間に年齢を重ねて妊娠できなくなる不安があったので制度の恩恵を感じる」と明かす。

厚生労働省によれば、22年4月～23年3月に不妊治療で保険適用を申請したのは約37万人に上る。このうち、約27万人が体外受精や顕微受精を含む生殖補助医療を利

用した。

妊娠しやすい排卵日を予測する「タイミング法」や、排卵時期に合わせて精子を子宮に入れる人工受精などの一般不妊治療の利用者は約10万人。勃起不全治療薬を処方するなど、男性の不妊治療を選んだのは約500人だった。

一方、東京都中央区に住むフリーランスの女性（39）は、状況が全く異なる。2年半以上前から不妊治療を続けるが、保険適用後も「お金が一瞬にしてなくなっていく」とうつ向き。

夫と2人暮らしの女性は、21年春から半年で体外受精を3回実施した。取り出した卵子と精子を受精させ、培養してできた受精卵を子宮に戻して着床を促す体外受精は、妊娠率が高いとされる反面、手間もかかるため高額になりがちだ。女性を通うクリニックでは1回60万〜70万円に上り、3回で計200万円を費やしたが妊娠できなかった。

その後の1年間は仕事が忙しく、

気分転換に旅行などを楽しんでいった。

保険適用が始まったこともあり、23年春に4回目の体外受精を実施しようとクリニックを訪れた際に女性は驚いた。公的医療保険が適用されるには日本生殖医学界が作成したガイドラインに沿った不妊治療しか受けられず、適用外の薬や治療法を一つでも組み合わせると全額を自己負担で賄う必要があるからだ。

女性はもともと排卵しにくい体質の関係で、排卵誘発剤を1日2錠、10日以上服用していた。しかし、保険適用されるためには1日1錠、5日以内に抑えないといけない。複数回受けていた超音波検査も回数制限される。

保険適用前から不妊治療をオーダメード型で組み合わせてきた女性にとって、むしろ使い勝手が悪くなるように感じられた。女性は担当医の助言も踏まえ、保険の適用は受けずに今まで通りの方法で不妊治療を続けることを決めた。

保険適用前は自治体から1回の治療で最大30万円の助成金が出ていたが、廃止になったことも女性にとって痛手だった。1回の治療費60万〜70万円を全額負担しなければならず、以前よりも持ち出しが増えた。女性は現在も不妊治療を続けているが、「私のように妊娠しにくい人にも救済策を作ってほしい」と訴える。

不妊に悩む女性を支援するNPO法人「Fine」（東京都）は22年に保険適用について、約2000人を対象にアンケート調査を実施。使い勝手が良くなったと回答した人のうち、支払う医療費が少なくなったのは66%に上った。一方で、悪くなったと答えた人で、33%が経済的な負担が増えたと回答するなど、状況は二分していることが分かった。

不妊治療経験のある野曾原蒼枝理事長は保険適用を歓迎するものの、「保険適用される範囲を今よりももっと拡大すれば、より多くの人の負担軽減につながる」と注

文する。Fineでは、保険適用に際して治療開始時点で43歳としている女性の年齢制限や最大6回までとしている回数制限の撤廃を求めている。今年6月に診療報酬が改定されるが、現状では要望の実現は難しい状況だ。

とはいえ、不妊治療の保険適用は始まったばかり。産婦人科医としても治療にあたる東京大の原田美由紀準教授は「患者の経済的な負担軽減のみならず、エビデンス（根拠）に基づいて安全な医療を提供する上でも不妊治療の保険適用は画期的なこと。より患者の利益に即した制度に育てるため、社会全体で注視してほしい」と指摘する